

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	2-2-1		事業名	中小企業ネットワーク構築・推進事業
担当	経済局産業振興部経済企画課企画係 田中 Tel211-2352			
全体計画				
事業内容	(財)さっぽろ産業振興財団において、中小企業・企業団体とのネットワークづくりを進めるとともに、公的支援機関との連携を図りながら、より実効的な中小企業支援施策を立案していく。また、中小企業の訪問を重ねることにより、後継者の確保が困難な中小企業経営者と、事業の承継希望者とをマッチングさせ、円滑な事業の承継を図る。事業実施にあたっては企業を訪問してアドバイスを行う登録アドバイザーも活用する。 また、金融機関等民間企業の社員を(財)さっぽろ産業振興財団に派遣してもらい、首都圏にも人員を配置することで、より機動的で効果的な事業展開を図る。		＜年度別の事業内容＞	
			中小企業ネットワーク構築・推進事業では、下記4事業を中心として、中小企業・企業団体への訪問によるニーズ把握や有識者会議などによる提言を受けることで、毎年度、事業内容を見直し再構築を行っていく。 ・企業マッチング ・市長と語ろう会(業種別・テーマ別懇談会) ・有識者会議(賢人会議) ・業界等調査(アンテナショップ開設検討等)	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	(財)さっぽろ産業振興財団で公募した豊富な知識と経験を持つ、登録アドバイザー49名が、企業訪問を行い経営課題に対応した。 訪問社数は96社、訪問日数は284日、満足度は4.7(5点満点)であり、中小企業振興に貢献することができた。		(財)さっぽろ産業振興財団において実施した「中小企業ネットワーク構築・推進事業」、「中小企業アドバイザー事業」及び「中小企業事業承継事業」に対し、補助金を交付した。 【内訳】 ○中小企業ネットワーク構築・推進事業 中小企業等の生の声を把握し、ニーズに即した実効性のある中小企業支援施策を立案するため、下記の事業等を行った。 ・市長と語ろう会 計3回実施(業種:金融機関支店長、スイーツ店パティシエ、百貨店バイヤー) ・経営者懇談会(賢人会議) 計1回実施(内容:食関連産業に係る課題と販路拡大の方法) ・中小企業へのヒアリング 企業、関係機関へ計535回訪問 ○中小企業アドバイザー事業 中小企業が抱える様々な問題の解決のため、知識や豊富な経験を持つ登録アドバイザー(51名登録。分野は、経営戦略、マーケティング、IT等。)が、計66社に延べ185回のアドバイスをを行った。 ○中小企業事業承継事業 中小企業支援センターにおいて、事業承継に関する日常的な相談対応や広報・PRを行った。	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	(財)さっぽろ産業振興財団において実施する「中小企業ネットワーク構築・推進事業」及び「中小企業アドバイザー事業」に対し、補助金を交付した。 なお、「中小企業事業承継事業」については、後継者を探している企業と後継希望者とのマッチング支援等を行う国の「事業承継支援センター」として札幌商工会議所が採択されたため、商工会議所と共催のうえ、「事業承継セミナー」を開催した(計3回、78人受講)。 【内訳】 ○中小企業ネットワーク構築・推進事業 中小企業等の生の声を把握し、ニーズに即した実効性のある中小企業支援施策を立案するため、下記の事業等を行った。 ・市長と語ろう会 計2回実施(①札幌の元気な若手経営者(21.9.16実施)、②食品加工、食関連製造企業の経営者(22.2.18実施)) ・経営者懇談会(賢人会議) 計1回実施(札幌在任経験のある経済人(21.11.20実施)) ・中小企業へのヒアリング 企業、関係機関へ計740回訪問 ○中小企業アドバイザー事業 中小企業が抱える様々な問題の解決のため、知識や豊富な経験を持つ登録アドバイザー(53名登録。分野は、経営戦略、マーケティング、IT等。)が、計40社に延べ116回のアドバイスをを行った。		(財)さっぽろ産業振興財団において実施する「中小企業ネットワーク構築・推進事業」及び「中小企業支援センター事業」に対し、補助金を交付した。 【内訳】 ○中小企業ネットワーク構築・推進事業 中小企業等の生の声を把握し、ニーズに即した実効性のある中小企業支援施策を立案するため、下記の事業等を行った。 ・企業訪問件数 254社 ・経営者懇談会(有識者会議) 2回開催(22年9月13日、23年3月8日に、それぞれ食関連の企業経営者と市長の懇談会を開催。) ・経済界フォーラム 2回開催(22年11月5日に物流をテーマとして実施、23年2月25日に、産業振興ビジョンの周知を目的として実施。) ○中小企業支援センター事業 創業、融資、経営等について相談対応を行う「札幌中小企業支援センター」において、中小企業が抱える様々な問題の解決のため、知識や豊富な経験を持つ登録アドバイザー(56名登録。分野は、経営戦略、マーケティング、IT等。)が、計37社に延べ107回のアドバイスをを行った。また、事業承継については、商工会議所や北海道中小企業総合支援センターとも連携を図り、対応を行った。	
規模				
件数				
等				

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	2-2-1			事業名	中小企業ネットワーク構築・推進事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
賢人会議(有識者会議)開催回数	-	-	1回/年	1回/年	2回/年	3回/年	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 財団が実施する各種事業について、パンフレットや広報さっぽろ、ホームページで広く周知するなど積極的な情報公開に努め、多くの市民がアドバイザー事業等の制度を利用できるよう努めている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力]中小企業訪問により資金需要のある会社に本市制度融資等を紹介している。 [人材協力]アドバイザー事業において、知識や豊富な経験を持つ団塊の世代の離職者等を登録している。 [情報協力]ネットワーク事業において、中小企業訪問を重ねる中で、現場の声を可能な限り把握するよう努めている。 [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり ネットワーク事業では、実際に支援コーディネーターが積極的に中小企業や企業団体などへの訪問を重ねていくものであり、従来以上に多くの企業が本事業に参加できる機会をつくっている。また、アドバイザー事業では、事業内容の積極的な周知に努めており、市民や企業が利用しやすい制度の構築に努めている。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>○中小企業ネットワーク構築・推進事業 企業訪問や各種支援機関等との情報交換の積み重ね、経営者懇談会など現場の意見などを把握する機会の積み重ねを通して、北海道食品に係る海外輸出の活性化について、政策提言が行われた。特に、民間企業出身者のコーディネーターの活用を通して、食関連企業を中心に企業訪問を積み重ね、企業同士のマッチングが行われるなど、企業間のネットワークの構築が進められた。 なお、22年度は賢人会議(有識者会議)の開催について、目標3回に対し、実績2回であるが、別途、有識者を招いたフォーラムを2回開催しており、札幌の産業振興のあり方について、市民・企業と認識を共有する貴重な機会となった。</p> <p>○中小企業支援センター事業 当事業の実施により、問題を抱える中小企業の経営革新能力や職員の意識向上が図られている。なお登録アドバイザーの人数は、ここ数年着実に増加している(平成17年度31人→平成22年度56人)。</p>			<p>○中小企業ネットワーク構築・推進事業 引き続き、企業同士のマッチングや販路拡大への支援を行うなど、ネットワーク形成に努めていく必要がある。また、企業経営者の意見も踏まえたうえで、より実効的な施策立案及び実践を進めていく必要がある。</p> <p>○中小企業支援センター事業 昨今の厳しい経済状況に即応した相談対応等が行えるよう、関係機関と連携体制の構築を図るとともに、中小企業支援センターでの相談・融資あっせん等の利用企業に対し、的確なフォローアップを行うなどの企業への支援を強化していく必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>「中小企業ネットワーク構築・推進事業」については、中小企業や各種団体への訪問による情報収集と、経営者懇談会などによる提言を受け、より実効的な産業振興施策の立案・提案を行い、札幌市の中小企業振興に貢献していく必要がある。特に、産業振興ビジョンの重点分野(食、観光、環境、健康・福祉)に沿った企業ニーズの洗い出しを行うとともに、東日本大震災が市内企業にどのような影響を及ぼしているかのヒアリング、調査も必要である。なお、事業の実施に当たっては、経済状況の変化に応じ、その都度事業内容を見直し、再構築を行うことで、より効果的・効率的な事業執行体制を構築していく。</p> <p>また、「中小企業支援センター事業」については、引き続き同水準で事業を実施していくが、より高度で質の高いアドバイスを提供することができるよう、検討を進めていく。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		2-2-1			事業名	中小企業ネットワーク構築・推進事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	0	27,000	27,000	27,000	81,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0				
		市の債	0	0	0	0				
		その他の	0	0	0	0				
	一般財源	0	27,000	27,000	27,000	81,000				
予算	事業費	0	34,307	32,134	28,242	94,683				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0				
		市の債	0	0	0	0				
		その他の	0	0	0	0				
	一般財源	0	34,307	32,134	28,242	94,683				
実績	事業費	0	27,155	29,647	32,522	89,324				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0				
		市の債	0	0	0	0				
		その他の	0	0	0	0				
	一般財源	0	27,155	29,647	32,522	89,324				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					110.3%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度]										
[21年度]										
[22年度]										